

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 5 月 25 日 (2017.5.25)

【公表番号】特表 2016-522846 (P2016-522846A)

【公表日】平成 28 年 8 月 4 日 (2016.8.4)

【年通号数】公開・登録公報 2016-046

【出願番号】特願 2016-509517 (P2016-509517)

【国際特許分類】

C 1 0 G 65/08 (2006.01)

C 1 0 G 45/52 (2006.01)

C 1 0 G 45/48 (2006.01)

B 0 1 J 23/755 (2006.01)

【 F I 】

C 1 0 G 65/08

C 1 0 G 45/52

C 1 0 G 45/48

B 0 1 J 23/755 M

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 4 月 5 日 (2017.4.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 3 】

発癌性を有しているベンゼンに関する限り、例えば、周囲空気を汚染するあらゆる可能性を、自動車燃料からそれを事実上除去することによってできるだけ制限することが要求される。米国では、改良燃料は、0.62 容積% 超のベンゼンを含有すべきでない。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 7 2 】

図 1 に示されるように、水素を含みかつ加熱された液体炭化水素供給原料は、下降流の操作様式に従って反応器 (5) に送られる (供給原料は、反応器の頂部で導入される)。しかしながら、本発明の骨格の範囲内で、水素との混合物中の液体炭化水素供給原料について上昇流の操作様式を用いることが可能である。